

13 番 八重樫龍介です。

通告に基づきまして次の事項についてお尋ねします。

町長は今年度の施政方針演述において、財政運営については「ふるさと納税や企業版ふるさと納税などを活用し、積極的に自主財源の確保に努め、持続可能な財政運営を行う」と述べられています。

そしてこの度、新聞でも報道されましたが、8月9日に個人の技能を生かして複数の企業・組織で働く「複業人材」と企業のマッチングに取り組む、(株)Another works と町は岩手県内自治体初の連携協定を結びました。

目的は、同社のネットワークを活用して、ふるさと納税のアドバイザーらを全国から公募し民間活力を生かし、営業力や情報発信の強化、魅力向上に取り組むことです。

今回3職種で若干名の公募であり、10月から半年間、週1回または隔週1回のオンラインによる勤務であります。募集する3職種「ECマーケティングアドバイザー」「事業立案アドバイザー」「フォトグラファー」の具体的な勤務内容について伺います。

また、この事業に取り組むにあたり、専門スタッフの配置など担当課の体制強化は考えているのか、そして、今回は実

証実験により公募や採用にかかる費用などは無償であるが、今後雇用延長した場合の経費はどのように対応されるのか、町長の見解を伺います。

次に、ふるさと納税の返礼品についてお尋ねします。

本町のふるさと納税による寄附額は、平成 29 年度が約 5900 万円、(同) 30 年度約 7300 万円、令和元年度約 8300 万円、(同) 2 年度約 1 億 1700 万円、(同) 3 年度約 1 億 4400 万円と幸い右肩上がりであります。

しかし、ふるさと納税に力を入れている自治体と比較しますと、さらなる飛躍が望める状況と思われれます。昨年度の本町の返礼品ベスト 10 は、岩泉ヨーグルトのセットが 6 品目を占めており、龍泉洞の水・化粧水も合わせると 9 品目と、岩泉ホールディングス(株)頼りであります。今後 2～3 億円の寄附額を目標とするならば、返礼品の発掘・開発は必須条件であります。

本町は、山の幸、海の幸、短角牛、黒豚など食材の宝庫であります。これらを使用した本格的なおせち料理の開発に取り組み、返礼品のひとつに加えるべきと考えます。

コロナ禍で帰省できずふるさとの味を恋しく思っている

人、さらに年末年始は必然的に、おせち料理の需要が高まると思います。

また、おせち料理は、味はもとより見た目も大変重要と思われます。幸いなことに、今回「複業人材」の公募でフォトグラファーを採用予定です。寄附額のアップが見込まれる、おせち料理の開発に早急に取り組むべきと考えますが、町長の見解を伺います。

## 13番 八重樫 龍介 議員の御質問にお答えします。

初めに、今般の「民間複業人材活用に関する連携協定」につきましては、株式会社Another works（アナザーワークス）と町が、それぞれの持つ環境や資源などを活かし、民間人材の知見や才能、経験等を活用しながら、事業推進を図るものであり、町の抱える様々な課題解決につながるものと期待しているところであります。

御質問の「複業人材」として募集している3職種の具体的な取組ではありますが、1つ目の「ECマーケティングアドバイザー」は、ふるさと納税のインターネット通販サイトで、現在掲載している6つのポータルサイトにおけるデザインの見直しや、返礼品の効果的なPR方法等へのアドバイス、また寄附者や返礼品データから、さらなる寄附の獲得に向けた戦略立案などを行うものであります。

2つ目の、「事業立案アドバイザー」につきましては、企業版ふるさと納税の制度を活用し、民間の視点から、企業がどのような形で地域に貢献できるかな

ど、企業版ふるさと納税の対象事業に関する企画立案を広く行うものであります。

3つ目の、「フォトグラファー」につきましては、現在ふるさと納税のポータルサイトに掲載されている写真のクオリティにバラつきがありますことから、スキルを持ったフォトグラファーに、町の返礼品の撮影及び加工を行っていただき、写真のクオリティを上げることにより、返礼品の効果的な発信を図るものであります。

本事業を遂行していく体制につきましては、非常に厳しい人員体制ではありますが、現体制の中で、民間活力も活用しながら、営業力、情報発信の強化及び魅力向上に取り組んでまいります。

また、今回は無償による実証実験ではありますが、今後大きな効果が得られる可能性がある場合は、継続のための財源確保を含めて、検討してまいりたいと考えております。

次に、ふるさと納税の返礼品についてであります。現在、200品目を超える返礼品を設定しており、引き続き、魅力ある返礼品の発掘、開発に取り組んでいく必

要があるものと考えております。

今後におきましても、本町ならではの食材を求める方や、岩泉町出身の方が、地元の懐かしい味を味わえるよう、議員御提言の「おせち料理」の開発なども含め、研究してまいりたいと考えておりますので、御理解をお願い申し上げます。

以上で答弁を終わります。